



公開セミナー 第45回 名作の舞台裏

ドラマ人間模様

太陽の子 ～てだのふあ



ドラマ番組のスタッフや出演者が、自ら制作した番組を振り返る人気公開セミナー「名作の舞台裏」第45回は、「事件」「夢千代日記」「あ・うん」等、数々の名作を生んだ、NHK「ドラマ人間模様」枠で放送された「太陽の子～てだのふあ」を取り上げます。
——今ある「生」がどれほどたくさんの「死」や「悲しみ」の果てにあるか、神戸に住む天真爛漫な小学生、ふうちゃんと沖縄出身の家族の暮らしを通じて、沖縄と日本の戦後に新しい問いかけを発した、灰谷健次郎の児童文学のドラマ化。1982年度芸術祭参加作品。



(写真提供/NHK)

2018年1月13日(土)

13時30分～16時30分(13時開場) ※番組上映のあと、ゲストによるトーク

会場 情文ホール 横浜情報文化センター6階

ゲスト 中村玉緒(出演) 長谷川真弓(出演)
重森孝子(脚本) 菅野高至(演出)

司会 渡辺紘史(演出・放送人の会)

主催：(一社)放送人の会、(公財)放送番組センター

応募方法

往復はがきに、①催事名(「太陽の子」)②住所③氏名④年齢⑤職業⑥希望人数(3名様まで)を記入し、**12月25日(月/必着)**までに、放送ライブラリー「名作の舞台裏」係宛郵送。放送ライブラリーのホームページでも受け付けています。

番組概要

神戸港近くの沖縄料理店「おきなわ亭」が舞台。そこに集まる沖縄出身の人々の「心」を、料理店を営む夫婦の娘で、店の人気者ふうちゃんの目を通して伝えた。心の病に苦しむ父、片腕を失ったロクさん。ふうちゃんは、戦争が沖縄の人々に与えた悲しい現実気付いていく。



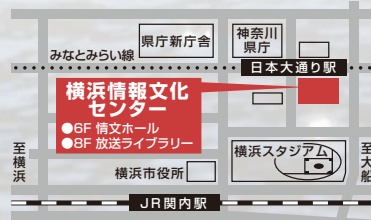
「てだのふあ」は沖縄の方言で「太陽の子」の意味。小学生のふうちゃん役は、100人を超えるオーディションの中から長谷川真弓が選ばれた。両親役には中村玉緒と井川比佐志、ふうちゃんとともに、沖縄の人々の暮らしや戦争について考えを深めてゆく、心優しき先生役で岸部一徳が出演している。

(1982年10月17日～11月14日放送・全5回/NHK)

入場無料【抽選で200名】

※ご提供いただいた個人情報は、本催事の抽選の結果をお知らせする目的のみに使用します。
※未就学児・小学生の入場はお断りさせていただきます。

放送ライブラリーは、みなとみらい線「日本大通り」駅、真上です。



申し込み・問合せ先

放送ライブラリー 〒231-0021 横浜市中区日本大通 11 番地 横浜情報文化センター内
TEL 045-222-2828 <http://www.bpcj.or.jp/>